

おひざのうえで 2026⑥

(副園長の子育て応援 Letter)

「子どもたちの姿に泣けるんです」

せんりひじり幼稚園 副園長 安達かえで



いよいよ次の日曜日は運動会です。子どもたちは、それぞれの年齢に応じた育ちを見せながら、本番に向けて取り組んでいます。

年少組は、ただただ走ることが楽しくて、大好きな先生のところまで笑顔いっぱい走っていきます。時には友達と顔を見合わせながら、嬉しそうに走る姿が、可愛くてたまりません。親子でのお遊戯も、どうぞお楽しみに！

年中組は、クラスみんなで力を合わせて、大きなパラバルーンを操ります。大きく膨らんだときは迫力満点！でも、練習ではうまく膨らまないこともあります。そんなとき、子どもたちは「どうしたら膨らむかなあ」と話し合います。自分一人が頑張るだけではうまくいかないこと、みんなの力が合わさることの大切さに、少しずつ気付いていくのです。

大玉転がしも、見ている以上に難しい競技です。大きな玉を二人で息を合わせて転がし、台に乗せるときにも力を合わせなければなりません。友達と呼吸を合わせることを楽しみながら挑戦する、4歳児にぴったりの競技ですね。

さて、年長組はというと……もう、予行のときから胸が熱くなります。リレーのスタートから伝わってくる、子どもたちのやる気と緊張感。目つきが違います！バトンを待つときの真剣なまなざしには、思わずしびれます。バトンを受け取ると、すぐに前を向いてエンジン全開！勢い余って転んだり、うまくコーナーを回りきれなかったりすることもあります。驚くのは、転んでもすぐに立ち上がって走り出すこと。そして、たとえ周回遅れになっても、最後まで懸命に走り切るアンカーの姿には、胸を打たれます。

リレーは、一人ひとりがバトンをつなぎ、クラスみんなで力を合わせる競技です。走ることが苦手な友達がいると、「僕がその分、速く走るから大丈夫！」と言ってくれる子もいます。誰かが抜かれても、その子のせいにすることはありません。

子どもたちは、どうしたらもっと速く走れるのか、自分たちで考え始めます。モニターを見ながら走り方を分析したり、バトンパスがうまくいかなければ、たけ先生に教えてもらいに行ったり。他のクラスに内緒で、こっそり練習しに行ったりする姿も見られます。

なかなか順位が上がらなくても、前より速くなったという手応えを感じられるように、先生たちは毎回タイムを計り、グラフにして見えるようにする工夫もしているようです。

練習ではなかなか勝てなかったクラスが、その分たくさん話し合い、自分たちで秘密の練習まで重ねてきました。そのクラスが予行のとき、いつもより上位になった瞬間、飛び上がって喜び合う姿がありました。見ていて胸が熱くなり、涙が出てきました。

もう、この年齢で、努力することの大切さや、みんなで力を合わせることの喜びを味わっているのです。

実は、思うように勝てないときこそ、子どもたちは、どうすれば勝てるのかを考え、作戦を立て、練習を重ね、心を合わせていきます。「終わってからバトンの練習をしよう！」「みんなで練習しないと！」と友達を誘ったり、走る順番を入れ替えてみたり。悔しさを次への意欲に変えながら、自分たちで考え、工夫し、挑戦する姿が生まれているのです。

勝つために工夫すること、負けた悔しさを次への意欲に変えることも、友達と支え合うことも、すべて大切な育ちです。運動会当日を迎える前に、子どもたちはもう、こんなにも素晴らしい心を育てています。だからこそ、当日の結果がどうであっても、子どもたちに「よく頑張ったね！」と心から伝えたいですね。

親はついつい、我が子には少しでも速く走ってほしい、勝ってほしいと思いますよね。私もそうでした。でも、大切なのは、勝つことだけではなく、運動会を通して子どもたちが育つこと。結果だけではなく、そこに至るまでの心の動き、体の使い方の変化、友達への思いやり、そして、うまくいかなくても挑戦しようとする気持ち。そうした一つひとつの姿に、子どもたちの育ちが芽吹いています。当日は、その子なりに一生懸命取り組む姿を、温かく見守ってあげたいですね。

オープニングパレードも、組体操のチャレンジも、年長組らしいカッコいい姿が見られることでしょう。組体操では、友達の上に乗るときに「乗るよ！」「いいよ！」と声を掛け合っています。そんな声が聞こえてきたら、ぜひ耳を傾けてみてください。自分のことだけでなく、友達のことも考えながら取り組む姿が、きっとあちこちで見られるはずです。

運動会では、勝った喜びもあれば、負けた悔しさもあるでしょう。でも、そのどちらも、子どもたちが大きく育つための大切な経験です。どうぞ、順位や勝ち負けだけでなく、子どもたちの表情や言葉、友達と力を合わせる姿に目を向けてください。そして、運動会が終わったら、ぜひ「頑張ったね！」「カッコよかったよ！」と、その子自身の頑張りをたくさん褒めてあげてください。

子どもたちが一生懸命に取り組む姿を、保護者の皆さんと一緒に喜び合えることを楽しみにしています。子どもたちにとっても、保護者の皆さんにとっても、心に残る素敵な運動会になりますように。当日、どうぞよろしくお願いいたします。

